

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【公開番号】特開2003-168424(P2003-168424A)

【公開日】平成15年6月13日(2003.6.13)

【出願番号】特願2001-365993(P2001-365993)

【国際特許分類第7版】

H 01 M 4/32

H 01 M 4/26

H 01 M 4/52

H 01 M 4/66

H 01 M 10/30

【F I】

H 01 M 4/32

H 01 M 4/26 E

H 01 M 4/52

H 01 M 4/66 A

H 01 M 10/30 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年1月21日(2004.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記コバルト被覆工程において、

前記導電性多孔体基板を少なくともコバルトを含有する塩溶液に浸漬する第1浸漬工程と

、

前記塩溶液に浸漬された導電性多孔体基板をアルカリ溶液に浸漬して少なくともコバルトを含有する水酸化物を前記導電性多孔体基板の表面に形成する第1アルカリ処理工程と、アルカリ水溶液と酸素の共存下で熱処理して前記コバルトを高次コバルト酸化物に高次化するアルカリ熱処理工程とを備えるようにしたことを特徴とする請求項3に記載のアルカリ蓄電池用ニッケル極板の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

そして、コバルト被覆工程において、導電性多孔体基板を少なくともコバルトを含有する塩溶液からなる含浸液に浸漬する第1浸漬工程と、この含浸液に浸漬された導電性多孔体基板をアルカリ溶液に浸漬して少なくともコバルトを含有する水酸化物層を導電性多孔体基板表面に形成する第1アルカリ処理工程と、アルカリ水溶液と酸素の共存下で熱処理してコバルトを高次コバルト酸化物に高次化するアルカリ熱処理工程とを備えるようにするのが好ましい。